

コチョウラン(ファレノプシス)の育て方(1)

栽培管理

置き場所

5月頃、夜間の最低温度が15℃以上になれば、戸外に出して育てることができます。風通し良く、雨よけのできる場所に吊り下げるのが理想です。春と秋は50～60%遮光し、夏は70～80%の遮光を行います。強光線に当てると葉焼けしやすいので注意しましょう。夜温が13～15℃以下になれば温室へ取り入れます。冬の間は最低15℃以上に保ちますが、できれば18℃以上にしたいものです。コチョウランは、特に風を好みますので、温室などに入れる場合は、空気が停滞しないように気をつけましょう。

水やり

生育期の春～秋は、乾いたらたっぷり与えますが、冬期は、水やりの間隔を長くし、1回の量も少なくして鉢内が過湿にならないようにします。

肥料

置肥は、油粕と骨粉を等量に混合、親指の頭大に固めたもの（市販のものでも可）を4～5号鉢で2個与えます。生育の良い株にはさらに、規定倍率に希釈した液肥（例：ハイポネックス1,000倍希釈）を6～9月の間、10日に1回程度与えます。

病害虫の防除

梅雨時に軟腐病が発生しやすいので、特に風通しを良くし、ダイセン水和剤やベンレート水和剤を散布して予防します。ナメクジが新芽や新しい根を好んで食害するので、見つけしだい捕殺するか、殺ナメクジ剤を散布し、防除します。

コチョウランの年間管理表

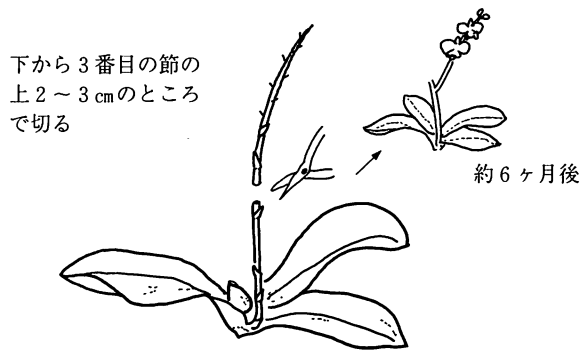
管理	月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
置き場所		戸外(雨よけ)または室内							室内					
日当たり (%は遮光率)		50～60%		70～80%				30～50%			50～60%			
水やり		乾いたらたっぷり							やや控えるが乾かしすぎない					
肥料		● 置肥 ●		液肥を10日に1回										
作業		← 植え替え →												← 花茎の切戻し →



コチョウラン(ファレノプシス)の育て方(2)

花茎の切り戻し

秋から早春に開花した場合、花後の花茎を切り戻すと、腋芽が伸びて、約半年後にもう一度花を楽しむことができる場合があります。



下から3番目の節の上2~3cmのところで切る

約6ヶ月後

花茎切り戻しの方法

植え替え

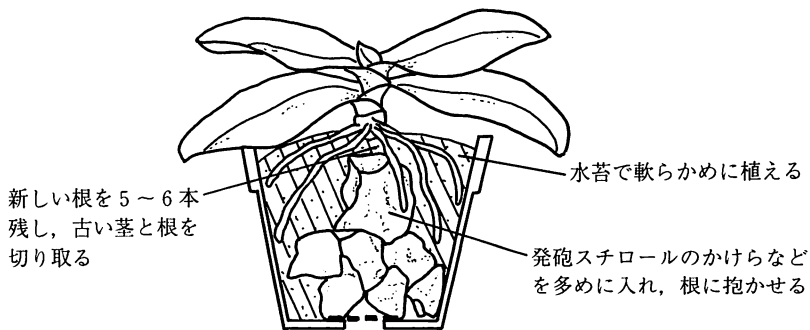
植え込み材料

水苔が適します。

植え替え時期と方法

下葉が無くなったり、生育が衰えた株、植え込み材料が古くなった株は植え替えましょう。2~3年に一度がめやすです。温室で管理する場合は、ヘゴ付け栽培も可能です。この場合、植え替えの要領で調整した株の根に、薄く水苔を当て、ヘゴ板に又釘などで固定します。こうすれば、植え替えの間隔を長くすることができます。

また、贈り物として入手した鉢は、数株寄せ植えにしていることが多く、そのままでは管理が難しいので、花後できるだけ早く1株ずつに植え分けます。



植え替えの方法

繁殖

花後の花茎に、腋芽が発達して高芽ができることがあります。高芽の葉が3~4枚、根が2~3本になれば切り離して殖やすことができます。

